

体育祭・体育大会開催時の熱中症予防対策について

【県内小中学校】

熱中症対策（工夫内容）
【活動場所・練習時の工夫】
・最初の応援練習の時は、小グループに分けて教室で練習を行った。
・屋外で活動を必要最小限にとどめるために、応援練習や競技の事前説明等は各学級で行った。
・ミスト付き扇風機を設置した。
・グラウンドに隣接する特別教室を熱中症応急処置室とし、常にエアコンを稼働していた。（大会当日も含めて）
・体育祭の練習は午前10時までとし、練習内容も最小限にした。それでも足りないときは、15時45分以降に実施した。
【当日の工夫】
・競技をしない学年は教室に戻り体を冷やし、競技をしている様子はオンラインで視聴した。（越前市の一部の学校で実施）
・競技を行なう学年のみグラウンドに出て、他学年は校舎内で待機した。（福井市の一部の学校で実施）
・開始時刻を早め、午前中のみで実施した。
・競技の数を減らし、体育祭全体の時間短縮を図った。
・開会式の簡素化した。（挨拶は校長と生徒会長のみ・国旗等の掲揚を事前に行っておく等）
・開会式に水筒を持って、クールタオルを付けて整列を認めた。
・中間にクールダウンを設け、冷房の効いた室内で15分間休憩をとった。
・クーリングブレイク（給水タイム）の一斉実施した。
・競技ごとの招集はせず、応援席から直接競技場所に集合した。
・競技を行なう学年のみグラウンドに出て、他学年は校舎内で待機した。
・2種目終わる毎に給水・塩分タブレット摂取タイムの設定した。
・全員が日陰になるよう、通常よりテントを多く設営した。
【水分・塩分の補給】
・スポーツドリンクや塩タブレットを配布した。（アレルギー対応も確実に行う）
【その他】
・数値が31を超えることが考えられたため、体育祭のプログラムにおいて短縮バージョンの準備し、いつでも対応できるようにして臨んだ。
・WBGT測定…誰もが見えるようにホワイトボードに時系列で記録した。
・帽子の着用を呼びかけた。

体育祭・体育大会開催時の熱中症予防対策について

【県立学校】

熱中症対策（工夫内容）
【活動場所・練習時の工夫】
◎体育祭を空調設備の整った公共施設で行う。（R4年度より実施。） <ul style="list-style-type: none">・理由の1つは屋外での生徒用テントの確保が難しくなった。 <空調設備の整った公共施設を使用するメリット> <ul style="list-style-type: none">・熱中症のリスクがかなり少ない。・学校祭期間中の生徒の疲労度を軽減できる。・2Fギャラリーの観覧席から競技が見やすいので、屋外で実施しているときよりもむしろ盛り上がる。・昼休みの時間などに空いているフロアを使ってなぎなた部の演技や書道部の書道パフォーマンスなど体育祭という要素だけでなく文化的な要素も取り入れた工夫が可能である。（学校祭におけるより効率的な時間配分・運営）
・休憩をクーラーの効いた教室で取らせた。
・グラウンドへの水まきを行った。
・ミストを設置した。
【当日の工夫】
・式典（開会式・閉会式）を省略化する。
・テント業者に依頼し、1クラス1張のテントとし、生徒が全員がテントの中から応援できるようにした。
・開会式・閉会式を体育館で実施した。
・開会式・閉会式をテントの中で座らせて実施した。
・長め（30分）のクーリングタイムを設けた。
・各応援場所(待機場所)にスポットクーラーの設置、大きな桶に冷たい水を用意した。
・競技数を減らし、午前中に競技を集中させて実施した。
【水分・塩分の補給】
・PTAから水分補給としてペットボトル2本（アクエリアス・お茶）を全員に提供した。
・PTAの方が中心となって、生徒がスポーツ飲料などで給水できるようにした。グラウンドの一面にテントを設け、紙コップ一杯の冷やしたスポーツ飲料等をいつでも飲めるように手配した。
・塩分タブレットを支給した。
【その他】
・熱中症警戒アラート発令時の短縮版プログラムを事前に用意し、発令時には速やかに切り替える準備を整えて臨んだ。
・帽子の着用を促した。
・うちわの配布した。
・生徒に暑さに慣れさせるため、体育祭の2、3日前の夕方から、教員の監督の下、生徒の自主的参加でリレーなどの競技種目の練習を行った。